



## 検査基準範囲変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当メディカルセンターでは基準範囲を「岡山県医師会制定基準範囲（平成15年改訂）」としておりましたが、血液検査、生化学検査の34項目につきましては、岡山県精度管理実行委員会の協議のもと、岡山県医師会が推奨しておりますJCCLS（日本臨床検査標準協議会）の共用基準範囲を採用することといたしました。

何卒、ご了承賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

### 記

- 実施日 2023年4月3日（月）ご依頼分より
- 変更理由 岡山県下での検査基準範囲共有化のため
- 主な変更点
  1. 血液検査、生化学検査の34項目をJCCLS（日本臨床検査標準協議会）の共用基準範囲を採用いたします。
  2. 中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロールは、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022」に沿った臨床判断値（予防医学基準値）に変更いたします。
  3. 電解質検査項目（ナトリウム、カリウム、クロール）、平均赤血球血色素濃度（MCHC）の単位を変更いたします。

詳細につきましては、渉外担当者までお問い合わせください。



## ＜新旧の基準範囲対比表（34項目）＞

検査項目		新JCCLS共用基準範囲			現行の基準範囲			
		下限	上限	単位	下限	上限	単位	
白血球数	WBC	3.3	8.6	10 <sup>3</sup> /μL	3.5	9.0	10 <sup>3</sup> /μL	
赤血球数	RBC	男性	4.35	5.55	10 <sup>6</sup> /μL	4.20	5.50	10 <sup>6</sup> /μL
		女性	3.86	4.92		3.80	4.80	
ヘモグロビン	Hb	男性	13.7	16.8	g/dL	13.5	17.0	g/dL
		女性	11.6	14.8		11.5	14.5	
ヘマトクリット	Ht	男性	40.7	50.1	%	38	52	%
		女性	35.1	44.4		35	48	
平均赤血球容積	MCV	83.6	98.2	fL	85	99	fL	
平均赤血球血色素量	MCH	27.5	33.2	pg	27	35	pg	
平均赤血球血色素濃度	MCHC	31.7	35.3	<b>g/dL</b>	31	36	%	
血小板数	PLT	158	348	10 <sup>3</sup> /μL	130	400	10 <sup>3</sup> /μL	
総蛋白	TP	6.6	8.1	g/dL	6.5	8.0	g/dL	
アルブミン	Alb	4.1	5.1	g/dL	3.8	5.3	g/dL	
アルブミン・グロブリン比	A/G	1.32	2.23		1.20	1.90		
尿素窒素	UN	8.0	20.0	mg/dL	8.0	22.0	mg/dL	
クレアチニン	Cr	男性	0.65	1.07	mg/dL	0.60	1.10	mg/dL
		女性	0.46	0.79		0.45	0.80	
尿酸	UA	男性	3.7	7.8	mg/dL	3.5	7.0	mg/dL
		女性	2.6	5.5		2.5	7.0	
ナトリウム	Na	138	145	<b>mmol/L</b>	135	145	mEq/L	
カリウム	K	3.6	4.8	<b>mmol/L</b>	3.5	4.8	mEq/L	
クロール	Cl	101	108	<b>mmol/L</b>	98	108	mEq/L	
カルシウム	Ca	8.8	10.1	mg/dL	8.0	10.0	mg/dL	
無機リン	IP	2.7	4.6	mg/dL	2.3	4.5	mg/dL	
グルコース	Glu	73	109	mg/dL	70	110	mg/dL	
中性脂肪 *1	TG	男性	40	<b>149</b>	mg/dL	40	150	mg/dL
		女性	30	<b>149</b>				
総コレステロール	TC	142	248	mg/dL	130	220	mg/dL	
HDL-コレステロール *2	HDL-C	男性	<b>40</b>	90	mg/dL	41	85	mg/dL
		女性	<b>40</b>	103		41	100	
LDL-コレステロール *3	LDL-C	65	<b>139</b>	mg/dL	70	139	mg/dL	
総ビリルビン	T-Bil	0.40	1.50	mg/dL	0.20	1.10	mg/dL	
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST	13	30	U/L	10	35	U/L	
アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	男性	10	42	U/L	7	42	U/L
		女性	7	23				
γグロタミルトランスフェラーゼ	γGT	男性	13	64	U/L	5	60	U/L
		女性	9	32		5	40	
コリンエステラーゼ	ChE	男性	240	486	U/L	168	470	U/L
		女性	201	421				
アミラーゼ	AMY	44	132	U/L	40	130	U/L	
クレアチンキナーゼ	CK	男性	59	248	U/L	60	250	U/L
		女性	41	153		50	190	
C反応性蛋白	CRP	0.00	0.14	mg/dL	0.30以下		mg/dL	
鉄	Fe		40	188	μg/dL	50	180	μg/dL
						40	170	
ヘモグロビンA1c(NGSP)	HbA1c(NGSP)	4.9	6.0	%	4.6	6.2	%	

\*1、\*3は上限に脂質異常症の臨床判断値を採用しています。

\*2は下限に脂質異常症の臨床判断値を採用しています。

## ＜共用基準範囲採用にいたるまでの経緯＞

臨床検査値の結果や解釈の基準となる指標として基準範囲がありますが、その設定や利用において、施設や都道府県ごとに様々な方法が採用されていました。

近年、医療機関の機能分担と連携が進み、測定方法の標準化とともに医療機関相互での患者の検査情報の共有化が期待されています。そこで、JCCLS（日本臨床検査標準協議会）では、大規模調査のもとに、各種学術団体等に意見を求め、日本医師会の賛同を得て「共用基準範囲」を公開しました。

それを受け、岡山県精度管理実行委員会においても協議が重ねられ、岡山県医師会制定の基準範囲が「共用基準範囲」となりました。

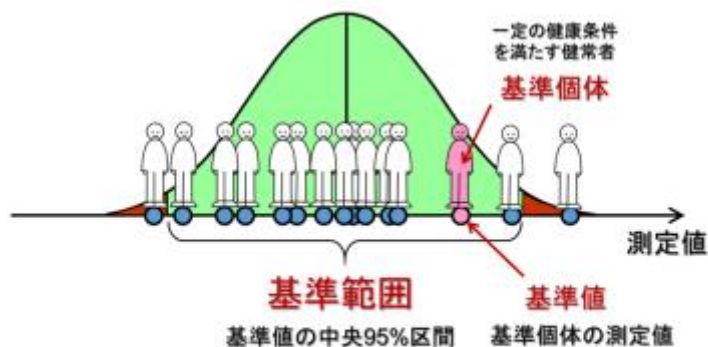
## ＜JCCLS（日本臨床検査標準協議会）共用基準範囲とは＞

3種類の健常人検査値データ（日本臨床衛生検査技師会・IFCC（国際臨床化学連合）基準範囲判断値委員会・福岡県5病院会）をもとに作成され、地域差がないことが証明された、日本全国で共用できる基準範囲です。

## ＜基準範囲と臨床判断値とは＞

### （1）基準範囲とは

一定の基準を満たす健常人より測定した検査値を多数集め、その分布の中央 95%の区間で算出された値です。そのため、健康であっても基準範囲から外れたり、異常があっても基準範囲内に収まる場合もあるため、検査数値は臨床症状を加味し、医師による総合的な判断の必要があります。（図 1）



（図1） 基準範囲定義の概念図

日本臨床検査標準協議会 基準範囲共用化委員会 編

「日本における主要な臨床検査項目の共用基準範囲 2022/10/01 版」 より参照

### （2）臨床判断値とは

特定の病態（動脈硬化性疾患、内臓脂肪症候群など）に対して、予防や治療、予後について判断する診断基準としてや、予防医学的な観点からの早期介入の目安として設定された値です。基準範囲とは異なった概念から得られた値のため、同じ検査項目でも臨床判断値と基準範囲の上限・下限の値は異なります。

## <変更箇所ポイント>

### ① 臨床判断値に基づいた基準範囲の変更項目

検査項目		共用基準範囲	臨床判断値に基づいた 今回採用する基準範囲	現行の 基準範囲
中性脂肪 (TG) (mg/dL)	男性	40~234	40~149	40~150
	女性	30~117	30~149	
HDL-コレステロール (mg/dL)	男性	38~90	40~90	41~85
	女性	48~103	40~103	41~100
LDL-コレステロール (mg/dL)		65~163	65~139	70~139

### ② 単位変更項目

検査項目	新単位	現行の単位
ナトリウム (Na)	mmol/L	mEq/L
カリウム (K)	mmol/L	mEq/L
クロール (Cl)	mmol/L	mEq/L
平均赤血球血色素濃度 (MCHC)	g/dL	%